

大井町防災講演会開催レポート 報告 平成23年6月13日 内田晴之

1.開催日 平成23年6月11日(土) 14時~17時 場所 大井町中央公民館ホール

2.主催 大井町防災まちづくりを推進する会

後援 大井町・大井町社会福祉協議会・防災塾だるま

3.参加者 町民120名 だるま会員寺田様(藤沢市)

行政 大井町 露木副町長・松田町島村町長・中井町原町議

開成町環境防災課員 大井町町民課員

4.講演 司会 高松 清美さん 防災塾だるま会員・神奈川災害ボランティア
ネットワーク会員

全員黙禱 大震災発生から3ヶ月目の区切りです。

演題 「災害に強いまちづくりを目指して」 —現状の問題点を探る—

講師 高橋恆清氏 大井町防災まちづくりを推進する会会長

元航空自衛隊航空教育集団 司令官 空将

平成19年3月 紺綬褒章授与

航空自衛隊勤務34年の間に得た訓練・演習についての知識や経験を
災害に強いまちづくりのために役立てたいと考えています。

概要 ① 町の防災計画書は災害対策推進の基本書である。

絶えず見直しを行い、自治会活動での実用書で有るべきだ。

現状は改訂作業を行ったと町民は判らない状態である。

② 防災訓練の重要性 訓練は綿密な計画を立て実行する。結果を点検
評価し、改善策を作り、次回訓練に生かす。この活動が減災に結び付く。

訓練は最悪に状態を想定する。平日の午後発生し、被害想定を決め実施

③ 安否確認は自治会の役目です。現状では自治会員の家族構成までは
確認出来て無い。自治会に加入世帯5,609戸 未加入851戸である。

未加入世帯の対策を自治会と町で早急に検討する必要ある。

結論 今年度の防災訓練は改善したと町民に感じて貰える様に進歩して

頂きたい。例えば、町と自治会で合同研究会を組織し実施する。

結果を点検・評価し改善策まで作り上げる。

演題 「地震と被害の概況から見た東日本大震災の脅威」

講師 荻本孝久 神奈川大学工学部教授 防災塾だるま塾長

安全で快適な都市空間・室内空間をつくるために、地盤という視点

から、建物をみつめています。当ホールで平成20年3月にも防災講演会

の講演 今回で2回目 その後7月~9月まで6回の講座を担当して

頂いています。大井町のホームページの揺れ易さマップのデータ提供

概要 ① 最近の大地震を振り返り、被害の特徴を個々に解説して頂く。

② 大地震発生のメカニズムと日本列島周辺のプレート

③ 東北地方太平洋沖地震の概要と特徴 津波観測状況被災概況

④ 足柄平野の地盤・地質構造と想定地震に対する震度分布の解説

質疑応答 活発に行われた。

以上